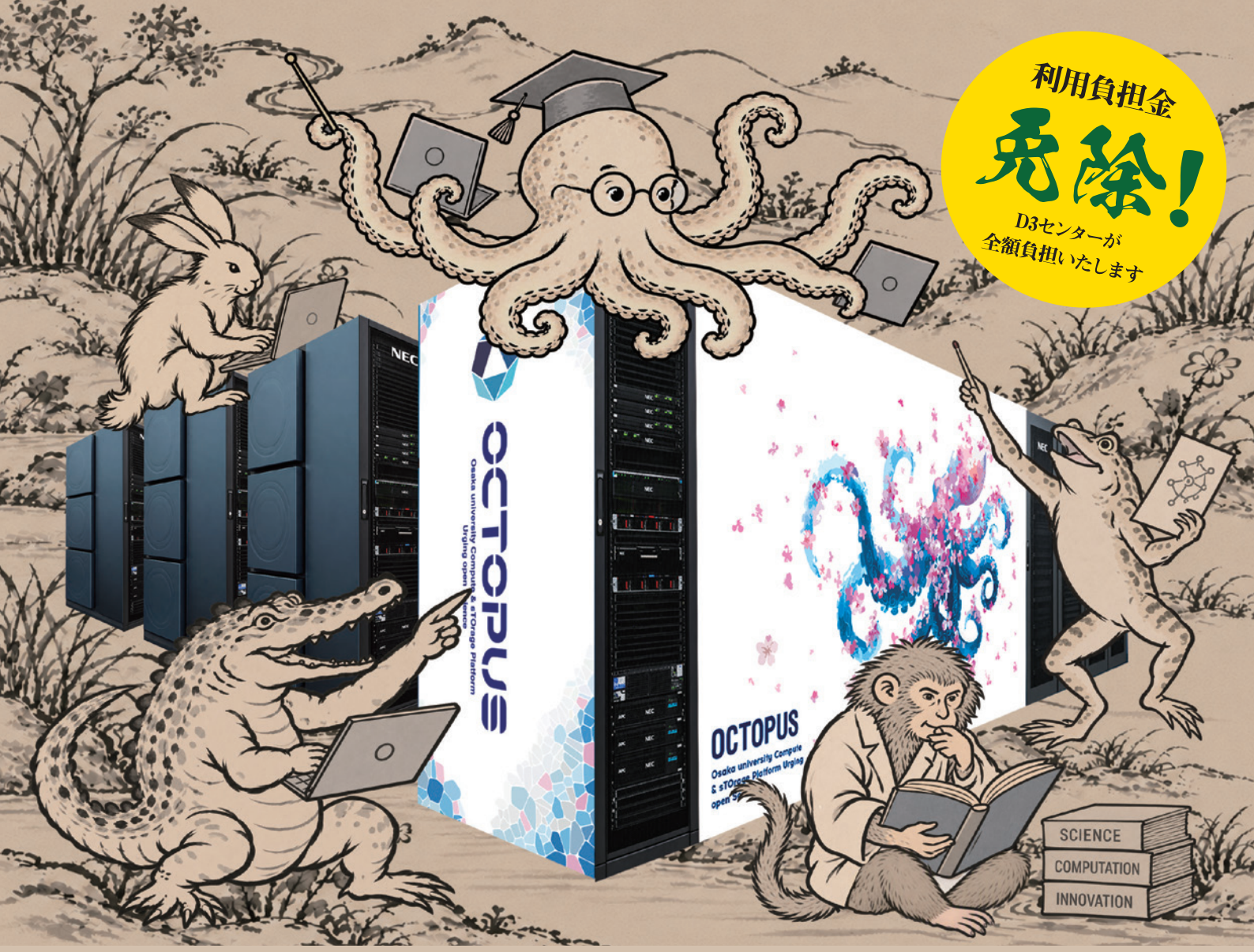


大規模計算機システム

公募型利用制度



募集

利用者には3つの嬉しいメリット!

1. 研究課題推進のための大規模計算機システム利用負担金の全額を本センターが負担します。
2. 研究課題推進のために本センターの施設(会議室等)を利用できます。
3. 本センターで開催する本公募型利用制度の成果報告会の旅費を全額負担します。

大阪大学 D3センターが設置する大規模計算機システム公募型利用制度(以下、「公募型利用制度」という。)は今後の発展が見込まれる萌芽的な研究課題を募集する(1)若手・女性研究者支援萌芽枠、大規模計算機システムを最大限活用することで成果が見込まれる研究課題を募集する(2)大規模HPC支援枠、大規模な計算能力を必要とする人工知能分野の研究課題を対象とする(3)人工知能研究支援枠から構成されます。

2027年度も、わが国の学術研究を担う次世代の研究者育成の視点から、本センター大規模計算機システムの利用資格を有する、一人又は比較的少数の学生が学位取得(修士、博士)を目標として行う研究課題を対象とする(4)世界と伍する学生育成特設枠を設置します。

また、2027年度は、量子計算機と大規模計算機システムを連携させ、未踏の課題に挑戦する、2つの特設枠を設置します。(5)量子・HPC連携特設枠では、理化学研究所が運用する「ibm_kobe」(IBM製、156量子ビット、超伝導方式)または「黎明」(Quantinuum製、56量子ビット、イオントラップ方式)の2機の量子計算機およびOCTOPUSを利用する研究課題、(6)QIQB共同研究特設枠では、大阪大学量子情報・量子生命研究センター(QIQB)が運用する「Anemone」(QIQB/理研製、64量子ビット、超伝導方式)または「Urchin」(QIQB/理研製、144量子ビット、超伝導方式)およびOCTOPUSを利用する研究課題を募集します。

応募方法及び期間

11月2日(月)～12月4日(金)

課題申請書に必要事項を記入のうえ、下記の送付先までメールにて送信してください。
課題申請書は、右記URL、または右記QRコードからダウンロードしてください。

課題申請書ダウンロードURL **http://osku.jp/s0730**

■募集開始:2026年11月2日(月) ■募集締切:2026年12月4日(金)(必着)
■審査結果:2027年2月中旬に結果を通知予定です



申込詳細など　大規模計算機システム　公募型利用制度　検索

送付先・お問合せ先:大阪大学情報推進部情報基盤課研究系システム班
大規模計算機システム担当　E-mail: system@cmc.osaka-u.ac.jp

大規模計算機システム

公募型利用制度 募集

利用負担金 免除！
D3センターが全額負担いたします

大阪大学D3センターでは、本センターの大規模計算機システムを活用する研究開発の育成・高度化支援の観点から、本センターが参画する「ネットワーク型」学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点(JHPCN)や革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の目的を踏まえつつ、今後の発展が見込まれる萌芽的な研究課題や本センターの大規模計算機システムを最大限活用することで成果が見込まれる研究課題を公募します。

利用者には3つの嬉しいメリット！



1 研究課題推進のための大規模計算機システム利用負担金の全額を本センターが負担します。



2 研究課題推進のために本センターの施設(会議室等)を利用できます。



3 本センターで開催する本公募型利用制度の成果報告会の旅費を全額負担します。

応募枠について



❶若手・女性研究者支援萌芽枠（1〜5課題募集）

課題代表者が42歳以下(2027年4月1日時点)の若手男性研究者、あるいは、女性研究者(年齢制限を設けない)であること。ただし、学生を除く。



❸人工知能研究支援枠（1〜3課題募集）

研究分野を問わず、人工知能技術を活用するプログラムを持ち、大規模計算機システム上で実行する計画があること。(例えば、ディープラーニングを用いた物質設計等のマテリアルサイエンス、機械学習を活用した化合物探索等のバイオインフォマティクス、大規模な統計処理を行う人文・社会科学、大規模計算機・大規模データによるデータ分析手法を取り扱う情報工学等、幅広く募集します。)



❺量子・HPC連携特設枠（1〜5課題募集）

理化学研究所の量子計算機「ibm_kobe」または「黎明」と、本センターの大規模計算機システムを組み合わせて利用する研究課題であること(量子計算機のみを利用する課題は対象としない)。



❷大規模HPC支援枠（1〜4課題募集）

既に並列化済みのプログラムを持ち、並列度を上げて実行する計画があること。



❹世界と伍する学生育成特設枠（1〜5課題募集）

課題代表者及び課題参加者が学生であること。一人又は比較的少数の学生が学位取得(修士、博士)を目標として行う、大規模計算機システムを利用する研究課題であること。



❻QIQB共同研究特設枠（1〜5課題募集）

大阪大学QIQBの量子計算機「Anemone」または「Urchin」と、本センターの大規模計算機システムを組み合わせて利用する研究課題であること(量子計算機のみを利用する課題は対象としない)。課題代表者は大阪大学の常勤の教職員または学生であること。QIQBの研究者と連携して研究を遂行すること。

利用できる大規模計算機システム



OCTOPUS (2.293 PFLOPS)

2027年4月1日から2028年3月31日までの期間利用することができます。

課題審査

応募された課題申請書を本センターの高性能計算機システム委員会で審査します。
詳細はWEBページをご参照ください。



申込詳細など

大規模計算機システム　公募型利用制度　検索

応募方法及び期間

11月2日(月)〜12月4日(金)

課題申請書ダウンロードURL http://osku.jp/s0730

課題申請書に必要事項を記入のうえ、以下の送付先までメールにて送信してください。
課題申請書は、左記URL、もしくは右記QRコードからダウンロードしてください。

■募集開始：2026年11月2日(月)　■募集締切：2026年12月4日(金)(必着)
■審査結果：2027年2月中旬に結果を通知予定です
■送付先・お問合せ先：大阪大学情報推進部情報基盤課研究系システム班
大規模計算機システム担当　E-mail: system@cmc.osaka-u.ac.jp